

## 2023年度

## 授業概要

科目名	地域作業療法学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 前期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の地域展開を理解し、この分野に興味関心を持つこと。							
【実務者経験】 作業療法士としてケアステーションかんざき（公立神崎総合病院）に勤務。身体機能障害及び小児領域のリハビリテーション従事、また、総合事業の企画と支援を行う。							
【授業全体の内容の概要】 地域の現場を知ること。具体的なプログラムや発信力を身につけるための演習を適宜取り入れる。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 地域で働くことに興味、関心を持ち、作業療法士として具体的実践につなげるための自信を持つ。							
回数	講義内容					準備物(教材)	
1	アイスブレイク、オリエンテーション 主体的な気持ちを回復するための作業療法とは？意味のある行為					資料・PC プロジェクター	
2	グループワークとその運営、初学者の心構え					資料・PC プロジェクター	
3	地域作業療法の対象を考える					資料・PC プロジェクター	
4	最近の保健医療福祉に関するニュースの発表					資料・PC プロジェクター	
5	介護予防事業の企画					資料・PC プロジェクター	
6	学び方を学ぶ					資料・PC プロジェクター	
7	発達段階に応じた福祉教育					資料・PC プロジェクター	
8	避難行動要支援者への関わり					資料・PC プロジェクター	
9	地域包括ケアシステム導入の背景、要約し相手に伝えること					資料・PC プロジェクター	
10	看取りと作業療法					資料・PC プロジェクター	
11	安全なりハビリテーションのために考えておくこと					資料・PC プロジェクター	
12	事例検討と多職種連携					資料・PC プロジェクター	
13	臨床実習指導者からみた学生について					資料・PC プロジェクター	
14	地域作業療法の現場から具体的対応を考える					資料・PC プロジェクター	
15	地域作業療法のまとめ					資料・PC プロジェクター	
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスターシリーズ 地域作業療法学 メジカルビュー							
【準備学習・時間外学習】 自分自身のコミュニケーションスキルを熟知し、地域リハビリテーションとしての各現場での実習に活かせるようしっかり振り返る。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価50点、定期試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							